

## 研修報告書

川口堅志

2024年3月25日～27日別紙の日程で「奈良県川上村」「奈良県吉野町」「大阪商店街」3日間の視察研修を実施しました。

25日奈良県川上村 人口1,200人

目的（林業振興研修）

対応者 下記4名

副議長・松本博之氏

吉野かわかみ社中・専務理事 上田一仁氏

奈良県庁職員 堀川氏

議会事務局・局長 松本勝典氏

村長・栗山忠昭氏と議長・泉谷隆夫氏に挨拶を頂いた。

川上村では、山林オーナーから委託され管理する（山守）制度で運営

吉野杉として販売（単価1m<sup>3</sup>28,000円）高額な取引がある。

森林譲与税8,000万 杉のお箸等製作販売するも有効活用が見い出せない。

説明を頂いた後、山林現場視察（280年の杉並木）

観光資源と水田がない村、林業に専念している徹底した信念を感じた。

26日奈良県吉野町 人口6,000人

目的 後醍醐天皇とまちづくり 観光地視察（世界遺産・吉野山）

対応者 下記3名

町長・中井顕太氏

産業観光課・課長 中尾 勇氏

産業観光課・課長補佐 谷村延彦氏

町長室での吉野桜・後醍醐天皇・桜祭りが4月になると始まり多くの観光客が訪れる。

空き地では、地主が2,000円の駐車料金を徴収、1,000円は町が環境整備費用・シャトルバス運行費用として活用する。

説明を頂いたのち、産業環境課の2名で世界遺産の金峯山寺（室長 田中氏）築1,600年・吉野神社・如意輪寺（後醍醐天皇御霊殿）案内頂く。

桜も咲いてない雨の中、インバウンドのお客様が世界遺産の吉野山に訪れる光景はどの観光地でも同様と感じた。

27日大阪府中央区（難波駅周辺）人口約112,000人

目的 観光動向と街の景観

観光客の殆どがインバウンドのお客様で世界各国から、アジアより白人・黒人の方たちが多くおもえた。

流石大阪タコ焼き、軒並みあるが皆行列店、ほぼインバウンドの方達が立ち食いする光景は、湯布院どころではない。

観光地は何もなくても、軒並み並ぶ店があれば人は来るものだと感じた。

朝現場を一回り、材料納入業者が大忙し、街はきれいに清掃されていた。

あれだけの人だから、かなりのごみもあるのに、各店舗の意識の在り方で街を守り続けている様は見習わなければなりません。

3日間有意義な研修をさせていただきました。

地域活性化に活用できる場所は早々に行動に移行したいと思います。